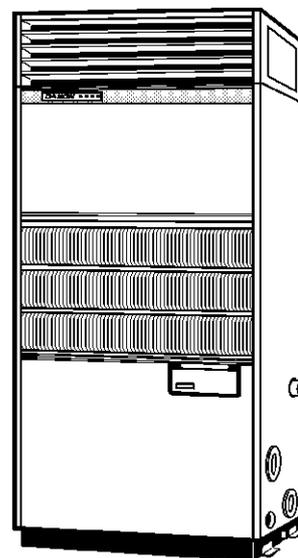




# 取扱説明書

## ダイキン 大形ファンコイルユニット



### 掲載機種

UAVP 90B  
UAVP150B  
UAVP225B  
UAVP300B  
UAV140A  
UAV200A  
UAV250A

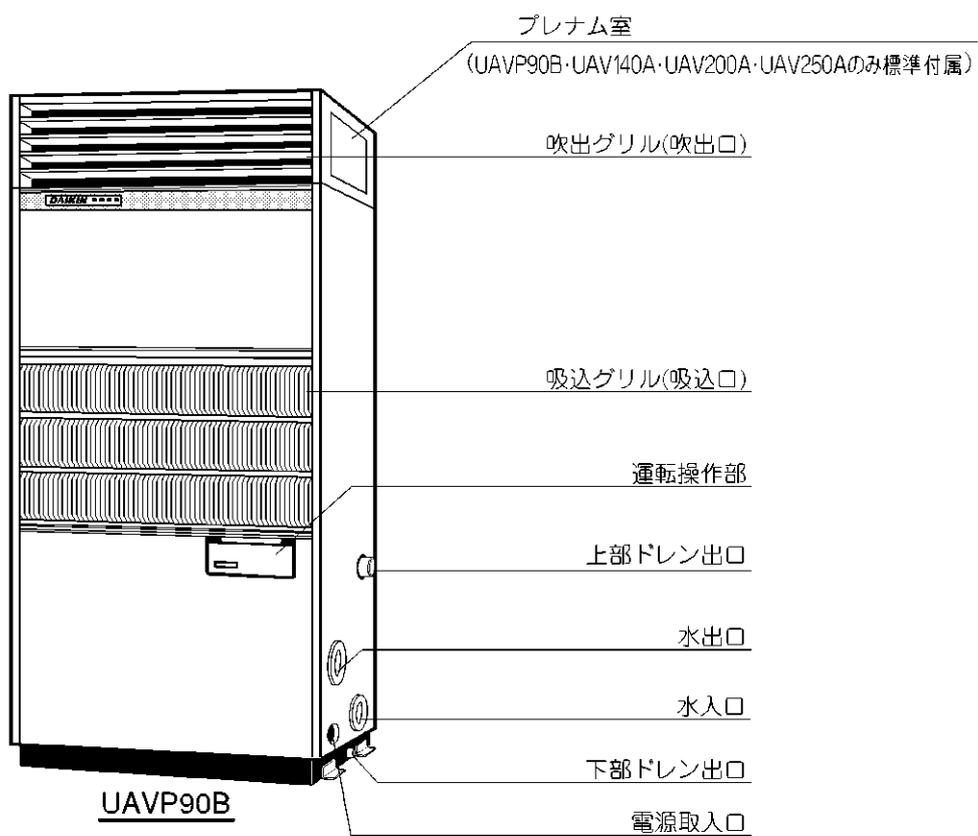
このたびはダイキン大形ファンコイルユニットをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。  
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。  
お読みになった後、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。

### 目次

各部の名称	1
据付け上のご注意	2
据付け上のご確認	3
安全上のご注意	4
運転前のご注意	6
運転準備	6
運転操作	7
ご注意ください	10
点検とお手入れ	11

# 1. 各部の名称



## 2. 据付け上のご注意

**据付け工事は、この「据付け上のご注意」をよくお読み  
のうえ確実にこなしてください。**

- ここに示した注意事項は、「△ 警告」、「△ 注意」に区分していますが、誤った据付けをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「△ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。  
また、据付説明書は、取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

### 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。  
ご自分で据付けされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

据付け工事は、据付説明書に従って確実にこなしてください。  
据付けに不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

据付けは、重量に十分耐える所に確実にこなしてください。  
強度不足の場合は、ユニットの落下により、ケガの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書、配線図銘板に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。  
電源回路容量不足や施工不備があると、感電、火災などの原因になります。

配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないよう確実に固定してください。  
接続や固定が不完全な場合、発熱、火災などの原因になります。

### 注意

アース工事をこなしてください。  
アース線は、電話のアース線、ガス管、水道管、避雷針、  
に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



設置場所によっては漏電しゃ断器の取付けが必要です。  
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないように保温してください。  
配管工事に不備があると水漏れし、家財などを漏らす原因となる場合があります。

水質基準に適合した冷水及び温水を使用してください。  
水質の悪化は、コイル等に腐食を生じ水漏れの原因となる場合があります。

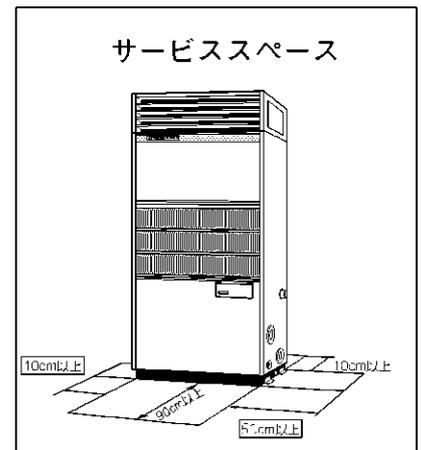
次のような場所への設置は行わないでください。  
可燃性ガスの漏れる恐れのある場所、およびシンナー、ガソリンなど  
揮発性引火物を取り扱う場所。  
万一ガスが漏れて、ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になる場合があります。

## 3. 据付け上のご確認

〈ファンコイルユニットを効果的に運転し、保守・点検を容易にするために次のことをご確認ください。〉

### 据付け場所

- サービススペースは、じゅうぶんとられていますか。  
障害物があると、冷房能力が落ち電気代が高くなります。またサービスがスムーズに行なえません。
- 下図のサービススペースは配管右勝手方向の場合です。  
左勝手の場合は□寸法を左右逆にしてください。



- 機械の重量にじゅうぶん耐える、水平で湿気の少ない場所に据え付けられていますか。  
据付け場所が適当でないと、騒音や振動の原因となることがあります。
- 近くに可燃性ガスの漏れる恐れのある所はありませんか。  
危険ですので、そのような場所はさけてください。

### アース工事

- アース工事がなされていますか。感電防止のため、必ず行なってください。

使用電源の電圧	
300V以下	300Vを越える
第3種接地工事	特別第3種接地工事

### 電気配線

- 電源は専用回路からとられていますか。

### 漏電しゃ断器

- 漏電しゃ断器が取り付けられていますか。  
法規（電気設備技術基準）で必要とされている場所に据え付ける場合は、必ず取り付けてください。詳しくは、販売店にご相談ください。

### 移設について

- 移設および移動する場合は、販売店にご相談ください。  
取りはずす場合は、専門の技術が必要です。

## 4. 安全上のご注意

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
この取扱説明書は、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

### ●安全についてのインフォメーション

- この取扱説明書の中に示した注意事項は、「△ 危険」「△ 警告」、「△ 注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く危険性の高いものを「△ 危険」の欄に、また、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを「△ 警告」の欄に記載しています。しかし、「△ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 <b>危険</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。

### ●図記号について

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が（左図の場合は回転体注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、アースを接続してください）が描かれています。

### 危険

- (1) 回転中のファンロータに絶対に触れないでください。  
ロータに巻き込まれ、死亡もしくは大けがをする恐れがあります。



- (2) 回転中のプーリやベルトに絶対に手を触れないでください。



### 警告

- (3) 電装ボックスのフタを開けないでください。  
内部の高電圧の箇所に触れて、感電する恐れがあります。



## ⚠ 注意

- (4) 異常時（異常音の発生、異常震動の発生等）は、運転を停止して、専門の工事業者、メーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。  
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災時の原因になります。
- (5) 修理は、お買上げの販売店・工事店又はメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。  
修理に不備があると感電・火災等の原因になります。
- (6) ファンコイルユニットを改造しないでください。  
感電・火災等の原因になります。
- (7) 運転中は、前板を開けないでください。内部でファンが高速回転していますので、ケガをする恐れがあります。
- (8) 蒸気管には、手を触れないでください。  
表面が高温になっており、ヤケドの恐れがあります。
- (9) ユニットの内部やコイル部分などの清掃を行なうときは必ず手袋をはめて行なってください。  
素手で行なうとケガをする恐れがあります。
- (10) ユニットの点検を行なうときは、必ず動力盤のセレクトスイッチを「切」にしてください。  
「遠方」「試運転」などの状態で行なうと、突然運転を開始することがあり、危険です。
- (11) ベルトの張り調整、点検などを行なうときは、必ず動力盤のセレクトスイッチを「切」にしてください。  
「遠方」「試運転」などの状態で行なうと、突然運転を開始することがあり、危険です。
- (12) ファンコイルユニットを水洗いしないでください。  
感電の原因になることがあります。
- (13) 水質基準に適合した冷温水を使用してください。  
水質が悪いと、コイル等が腐食し、漏水する恐れがあります。
- (14) 冬期、運転を中止する場合は、「コイル及び配管よりの水抜き」、「循環水への不凍液の混入」など、有効なコイル凍結防止対策を実施してください。  
未対策のままですと、コイルが凍結破損し、漏水する恐れがあります。



専門技術者以外の  
修理・分解禁止



改造・分解禁止



ヤケドのおそれあり  
手で触れないこと



清掃のときは  
手袋をはめること



ファンコイル本体の  
水洗い禁止

## 5. 運転前のご注意

エアフィルタは必ず取り付ける

- エアフィルタは、必ず取り付けてから運転してください。エアフィルタを取り付けずに運転しますと、除塵効果がなくなり機械が汚れ、故障のもとになります。

アース線の確認

- アース線がはずれていないか確認してください。安全〔感電事故防止〕のためにも確認してください。

ファンコイルユニット前の障害物を取り除く

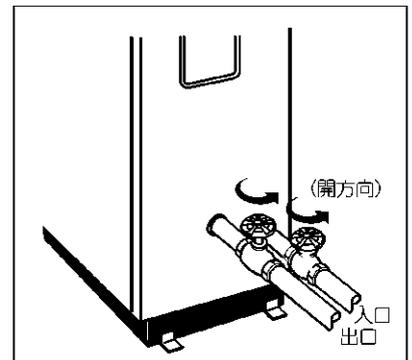
- ファンコイルユニット近くの障害物を取り除いてください。障害物があると、冷房（暖房）能力がおちます。



## 6. 運転準備

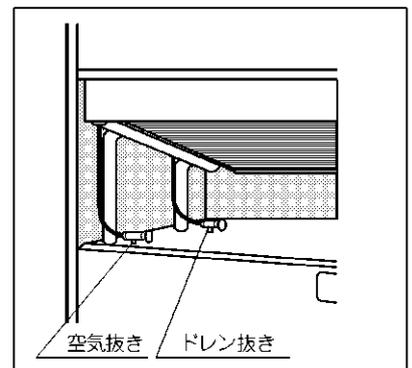
電源スイッチを入れてください。

水出入口の弁を開いてください。



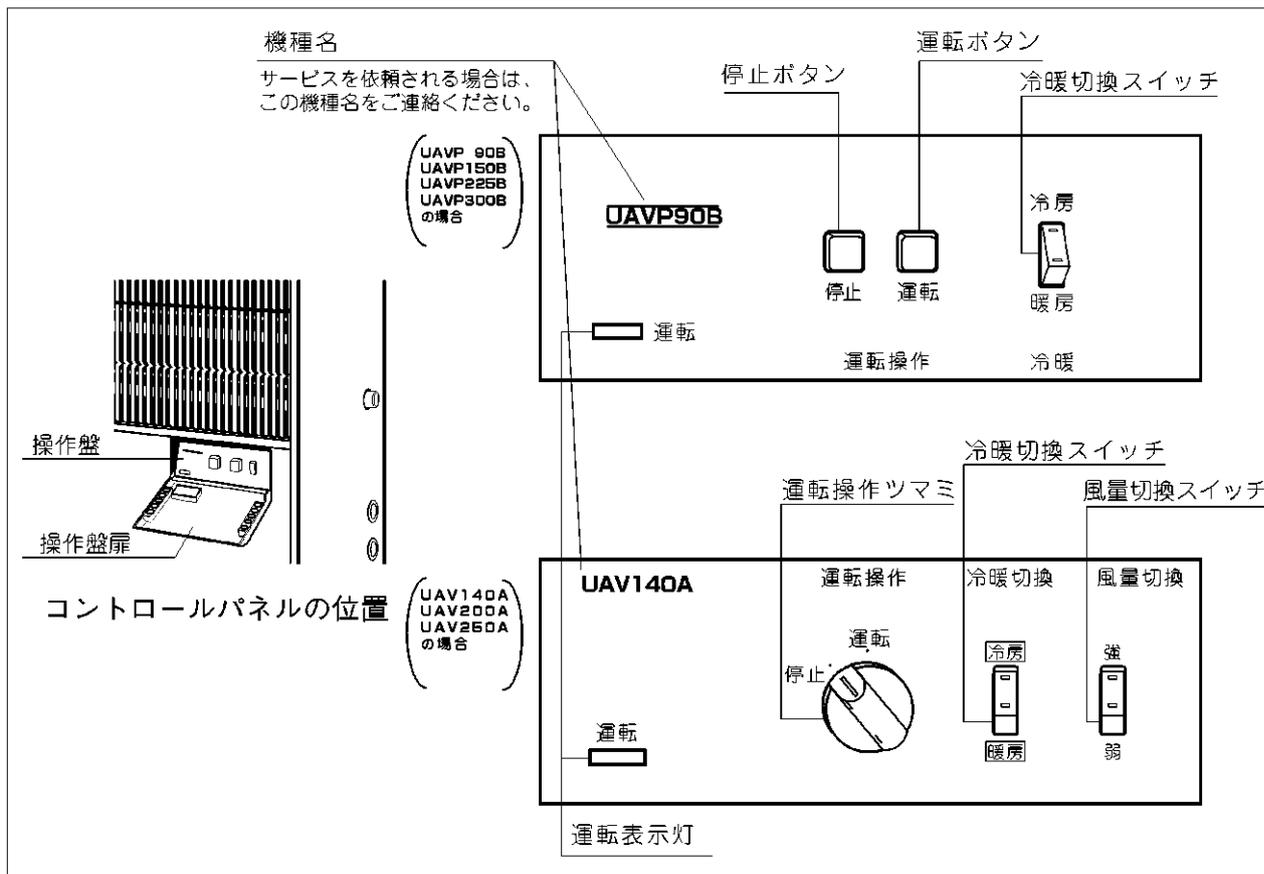
空気抜きをしてください。

- 空気抜き用ピーコックは吸込グリルを開けたところに設置されています。



# 7. 運転操作

〈運転操作は、コントロールパネルのつまみやスイッチ類で行なってください。〉



## ■操作部の各部の名称と働き

**冷暖切換スイッチ**……冷房運転する場合は、スイッチを「冷房」側に、暖房運転する場合は「暖房」側に倒します。

### (1)UAVP90B・150B・225B・300B

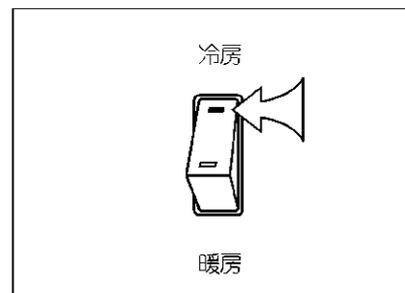
- 運転操作ボタン**……………「運転」ボタンを押すとファンが運転します。
- (運転・停止ボタン)**……………「停止」ボタンを押すとファンは停止します。
- 運転表示灯**……………「運転」ボタンを押すと点灯します。

### (2)UAV140A・200A・250A

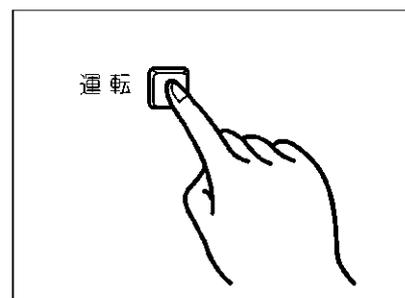
- 運転操作つまみ**……………つまみを「運転」にするとファンが運転します。
- ……………つまみを「停止」にするとファンが停止します。
- 運転表示灯**……………つまみを「運転」にすると点灯します。

## ■操作方法 (1) UAVP90B・150B・225B・300B

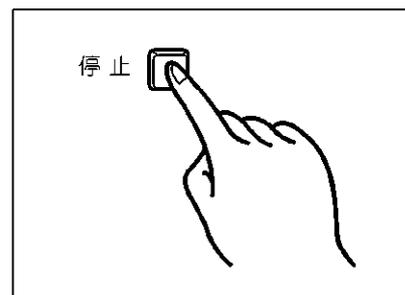
- ①冷暖切換スイッチを、冷房運転する場合は「冷房」側に、暖房運転する場合は「暖房」側に倒してください。



- ②「運転」ボタンを押してください。  
このときファンが回り、吹出口から風を送ると同時に運転表示灯が点灯します。

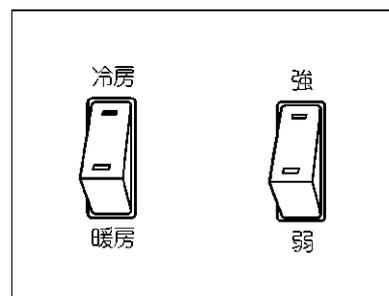


- ③停止させる場合は、「停止」ボタンを押してください。  
ファンが停止し、運転表示灯が消灯します。



## ■操作方法(2) UAV140A・200A・250A

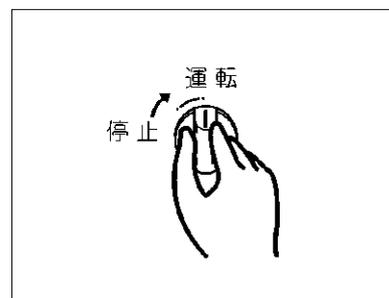
①冷暖切換スイッチを、冷房運転する場合は「冷房」側に、暖房運転する場合は「暖房」側に倒してください。



②風量切換スイッチを「強」、「弱」のいずれかにしてください。

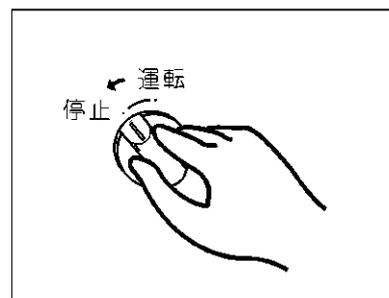
③運転操作ツマミを「運転」にしてください。

このときファンが回り、吹出口から風を送ると同時に運転表示灯が点灯します。



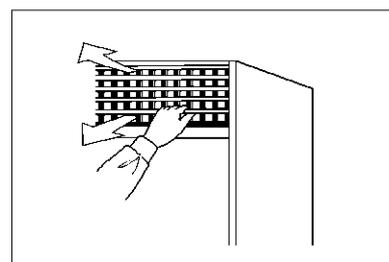
④停止させる場合は運転操作ツマミを「停止」にしてください。

ファンが停止し、運転表示灯が消灯します。

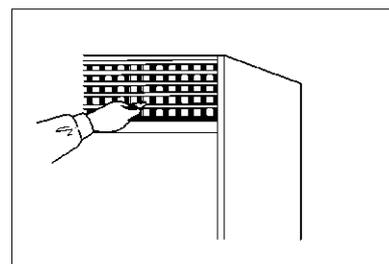


## ■風向調節のしかた (UAVP90B・UAV140A・UAV200A・UAV250Aのみ標準付属)

●冷風を上方向、下方向、前方へ向けたいときは、吹出グリルを1枚ずつ風を出したい方向に向けてください。冷風はやや上向きに吹出すようにすると、効果があります。

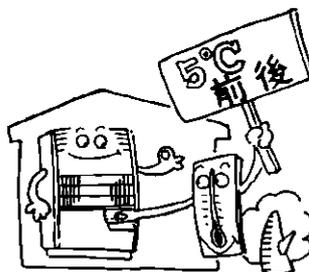


●冷風を右または左に向けたいときは、図に示すように、ラジオペンチまたはペンチで垂直羽根をはさみ、1本ずつ羽根の方向を変えてください。ただし左右方向は1度セットしますと、できるだけ変えないようにしてください。



## 8. ご注意ください

室内と外気の差は5℃前後



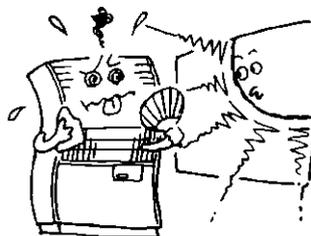
冷房中の室内と外気との温度差をあまり大きくしますと、かえって不快になることがあります。室内温度と外気温度の差は5℃前後が適当です。

お手入れの際、アルコール、シンナー、みがき粉等は、使わない



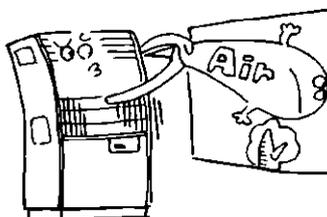
ファンコイルユニットの外面は常にお手入れしてください。お手入れされる場合は、乾いた布か水を少し浸ませた布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等をご使用くださってもよろしいのですが、アルコールやシンナー、みがき粉などは塗装がはげたりキズの原因となりますので絶対避けてください。

直射日光の当たる窓には、ブラインドやカーテンを



直射日光の当たる窓には、ブラインドまたはカーテンを取り付けていただければ冷房効果が上がります。

扉や窓は開放しない



部屋の扉や窓を開放したままにしておきますと、冷やされた室内の空気が外へ逃げ、冷房効果が上がらないばかりでなくファンコイルユニット吹出口周辺に霧が発生しますので扉や窓は開放しないでください。

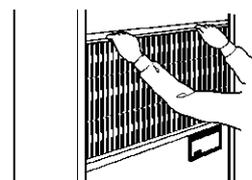
## 9. 点検とお手入れ

〈点検・お手入れの際は、危険防止のため、必ず電源スイッチを切ってください。〉

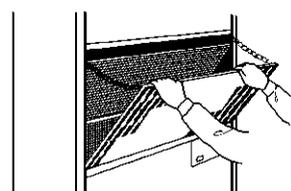
### ■エアフィルタの清掃

空気中のほこりを取り除き、いつもきれいな冷風を送りだすためにエアフィルタが取り付けられています。これを長い間放っておきますと、エアフィルタの目がつまって空気の流れが悪くなり、冷房（暖房）能力が低下したり、ファンの運転音が高くなることがありますのでエアフィルタの清掃は、2週間に1度は必ず行なってください。

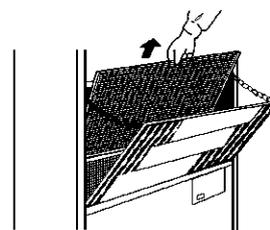
1. 吸込グリルの把手を持って、吸込グリルを手前に引いて開けてください。



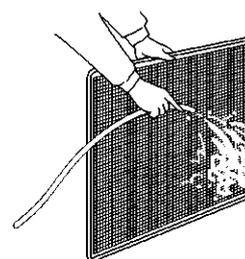
2. 吸込グリルを開けるとエアフィルタが入っているのが見えます。この時、吸込グリルと本体をつないでいる鎖が確実に取り付けられているか確認してください。鎖がはずれている時は、鎖の掛金を取り付けてください。



3. エアフィルタを斜め上方へ抜き出してください。



4. 取り出したエアフィルタは、ホコリを払い、清水かぬるま湯で洗ってください。



5. 乾燥させてから元の位置に取り付けてください。

エアフィルタを入れないで運転しますと、除塵効果がなくなり、機械が汚れ、故障のもとになります。  
必ず取り付けてから運転してください。

#### ご注意

1. エアフィルタは50℃以上の熱湯で洗わないでください。
2. エアフィルタは直射日光に当てないでください。変形する恐れがあります。
3. ガソリン・シンナー等有機溶剤は使用しないでください。
4. エアフィルタは火であぶらないでください。燃えることがあります。
5. 特に汚れのひどいところでご使用になる場合は、清掃のひん度を多くしてください。

## シーズンオフには

### 1. 半日送風

晴れた日に半日ほど送風運転をして、内部をよく乾燥してください。水分がたまっていることがあります。（送風運転のしかたは8ページ参照）

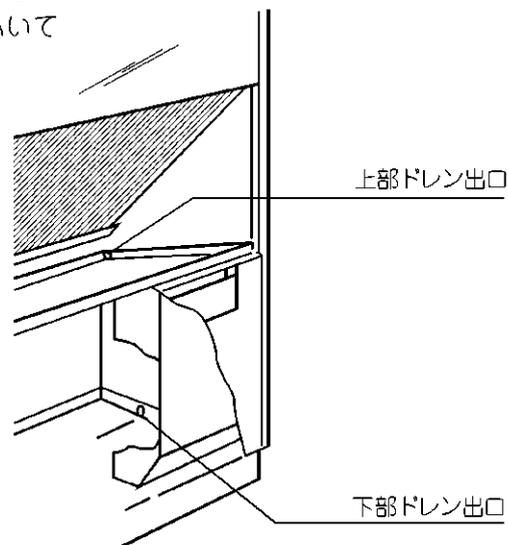
2. 電源スイッチを必ず切ってください。

### 3. エアフィルタの清掃

エアフィルタは清掃後必ず元の位置にもどしてください。



4. ホコリやゴミでドレン管〔室内空気から除湿された水の排水管〕が詰まる場合がありますので、ドレンパンおよびドレン出口に付着しているホコリやゴミを取り除き、ぬれた布などでふいてください。



5. 水用コイルの水は必ず抜いてください。管内の水が凍結して管を破損させることがあります。

6. 保管方法として機械全体に保存カバーをかけておきますと、機械内部へのゴミ、ホコリの入るのを防ぐことができ、また機械外面へのよごれ、破損を少なくすることができます。

7. 春や秋に送風運転〔ファンのみを運転〕を行なう場合は、電源スイッチを入れて、コントロールパネルの「運転」ボタンを押す（ツマミを「運転」にする）だけでけっこうです。冷（温）水を流す必要はありません。

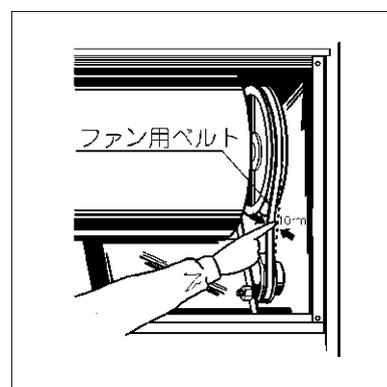
## シーズン始めには

シーズン始めには、ファンコイルユニットの運転を始める前に次の事を行なった後、送風運転をして内部を乾燥させ、P.6・7運転準備、運転操作の手順にしたがい運転してください。

- 1.機械に保存カバーがついていたら取りはずしてください。
- 2.エアフィルタ、水コイルの清掃をしてください。
- 3.機械の前面に風の流れを妨げるような物が置いてある場合は取り除いてください。
- 4.長時間運転を停止していますと、再び運転を始めるときに、ファンに付着したホコリが吹き出る場合がありますのでご注意願います。
- 5.ファン用ベルトがゆるんだり切れたりしていないか確認してください。  
ファン用ベルトのゆるみが正常でないと、送風が不安定になります。  
(UAVP90B・150B・225B・300Bの場合)

### 〔確認方法〕

- 吸込グリルをはずしてください。
- 前板をはずしてください。ファン用ベルトが見えます。
- ファン用ベルトは指で軽く押さえて約10mmたわむ程度が適当です。



### ご注意

ファン用ベルトのゆるみがひどいときや、切れているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ■メンテナンスサイクル

記号

○：点検 ●：交換 ◆：洗浄 ■：塗装

部品名		経過年数															点検項目
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
※2 軸受	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異音、発熱、 振動
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	●	⋮	⋮	⋮	⋮	●	⋮	⋮	⋮	⋮	●	
※1 ベルト	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	張り、摩耗	
	保全	⋮	●	⋮	●	⋮	●	⋮	●	⋮	●	⋮	●	⋮	●		
ハウジング	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	錆、埃	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	◆	⋮	⋮	⋮	⋮	●		
羽根車	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	錆、振動、異音	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	◆	⋮	⋮	⋮	⋮	●		
プーリ	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	錆、摩耗	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	■	⋮	⋮	⋮	●		
シャフト	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	錆、摩耗	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	●		
※2 電動機	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	電流、振動、 発熱	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	● (軸受)	⋮	⋮	⋮	⋮	● (軸受)	⋮	⋮	⋮	●		
プレフィルタ	点検	半年毎に点検		⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	目詰まり、 汚れ		
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	●	⋮	⋮	⋮	⋮	●	⋮	⋮	⋮		●	
コイル	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	汚れ、水漏れ	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	◆	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	●		
ドレンパン	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	汚れ、 排水孔詰まり	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	■	⋮	⋮	⋮	●		
外装パネル	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	錆、 断熱材の劣化	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	●		
電動弁 (オプション)	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	作動確認	
	保全	⋮	⋮	⋮	⋮	●	⋮	⋮	⋮	⋮	●	⋮	⋮	⋮	●		

注)1 上記メンテナンス期間は一般的な目安を示します。

(その他項目については(社)日本冷凍空調工業会：「保守・点検のおすすめ」をご覧ください。)

注)2 使用条件・運転時間などにより変化します。上表は一般事務所において年間3000時間運転(1日10時間)での目安です。

注)3 断熱材については劣化状況に応じて補修を行ってください。

注)4 24時間運転を行う場合は、上表の年間時間から点検・保全時期を算出してください。

※1：ベルト交換時および新設時は運転後、約100時間にてベルト調整をしてください。

※2：ファン軸受・電動機軸受は約20000時間おきに交換してください。

# お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ 据付年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

緊急時には下記ダイキンコンタクトセンターへご連絡ください。

電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

## ダイキンコンタクトセンター (お客様総合窓口)



**0120-88-1081** (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

### 営業時間

24時間365日対応いたします。

### 対応業務

商品に関するすべてのご相談・  
お問い合わせをお受けいたします。  
(修理、メンテナンス、取扱い、  
機種選定および別売品・消耗品・  
補用部品の販売など)

1004

## ダイキン工業株式会社

本 社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル  
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル  
郵便番号 108-0075

4P143144-1E M04Y201B (1010) HT